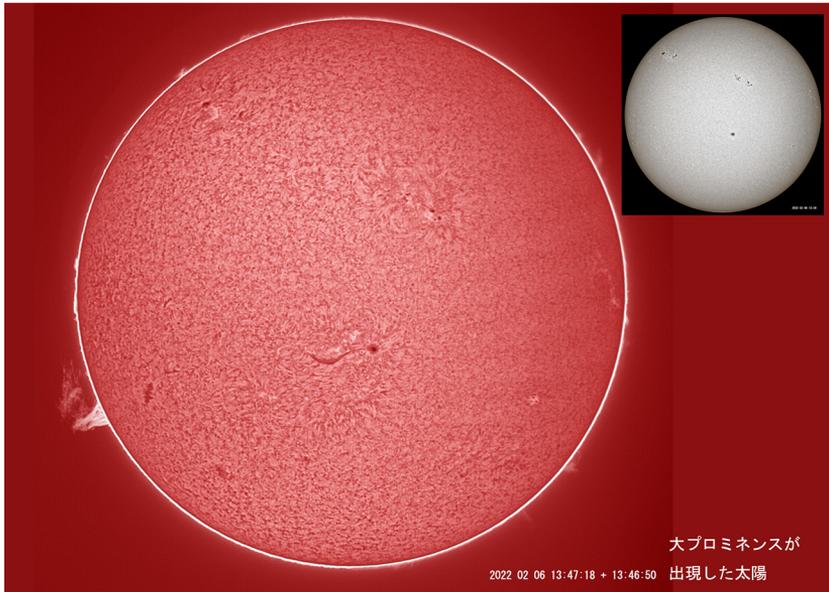


星屑

2022年3月号

No. 564



大プロミネンスが

2022 02 06 13:47:18 + 13:46:50 出現した太陽

太陽 大プロミネンス

2022年2月6日 13:47:18

Lunt LS50THa QHY5L II

がんばるばい 熊本！ 熊本県民天文台

1/12(水)、感染爆発！ 一般公開休止を決定

1週間の感染者数が、前週の90倍！ オミクロン株への感染が爆発的に拡大

■ 感染力が強い！

1/12(水)、熊本県内の新規感染者数が 177名 に達しました。1/6(木) から 1/12(水)までの1週間では、537名!!!。12/30(木)から 1/5(水)、までの 6名 と比べ、約90倍。恐るべきスピードでの感染拡大です。→ 熊本県は、リスクレベルを「2」に引き上げました。

しかし、この勢いがあと2・3日続くと、新規感染者数は「リスクレベル 3」の水準に到達すると予測できます(「緊急事態」レベル)。そのような状況ですから、メーリングリストで会員に周知し、週末の1/15(土) から、一般公開を休止することにしました。

■ ホームページも改訂

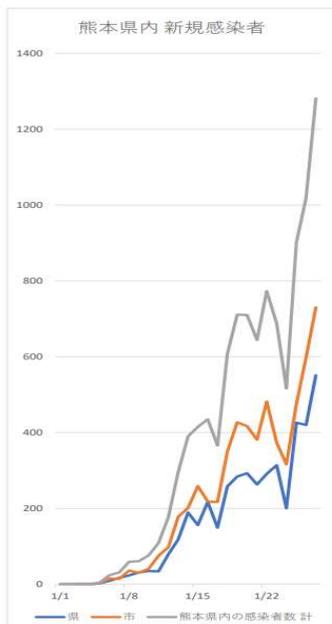
すぐに県民天文台のホームページも改訂して、「一般公開休止」をお知らせしました。

団体向けの「星の観察会」などもすべて休止します。

社会的な距離の確保をしながら「星空の観察」を工夫してきましたが、残念ながら休止するしかなさそうです。オミクロン株への感染がこれだけ爆発的に拡大し始めた状態では、ワクチン接種のできない児童が参加するイベントを開催することは避けた方が良いでしょう。

また、この冬は寒さが厳しいですから、夜間の野外での解説には慎重を期した方が良いでしょうね。医療機関の逼迫や緊張状態を考慮すると、軽い風邪を引いた場合でも、病院にかかること自体が大変なことになるそうですから。

1/27(木)、県内の 新規感染者 1,281名



1/27(木)までの1週間では、熊本県内で 5,820名! もの新規感染者が発生!

今年になってからの推移を集計して、毎日グラフを更新しているのですが、それを見ると、縦軸の数値がこれまでにない桁数で、ゾツとするばかりです。しかも、感染者のほとんどが20歳以下の若年層ばかりですから、これから更に各世代へと急拡大するのは明らかだと思われます。

一方で、政府や地方行政の、これまでの経験さえ忘れてしまったかのような後手後手の対応を見ていると、深刻な不安を感じます。基礎疾患持ちの身にとっては、通常の医療を受けるのも難しくなると予想され、極めて厳しい現実だと言わざるを得ません。

皆さんも、「オミクロン株は感染しても重症化しない」などと楽観的に考えることなく、日常生活を再点検し、厳重な感染防止対策を取って頂くようお願いします。

2/26(土)、豊野みどりの少年団 観覧会中止決定

「団体で、1/26(土)の一般公開に参加したい」と、予約申込を頂いていました。しかし、新型コロナウイルス(オミクロン株)の感染状況により、団体向けのイベント開催はできないと判断。主催者側と話し合って、中止することに決定しました。(2/6、日)

2/9(水) 熊本県内の感染状況分析 嚴重警戒を！

■ 感染者数が高止まり

2/9(水)現在、県内では毎日の新規感染者がおよそ 1,000名 のレベル。熊本県は「まん延防止等重点措置」の期間延長を申請し、政府は期間を延長する方針ですから、一般公開等の休止状態は、当面継続することになりそうです。

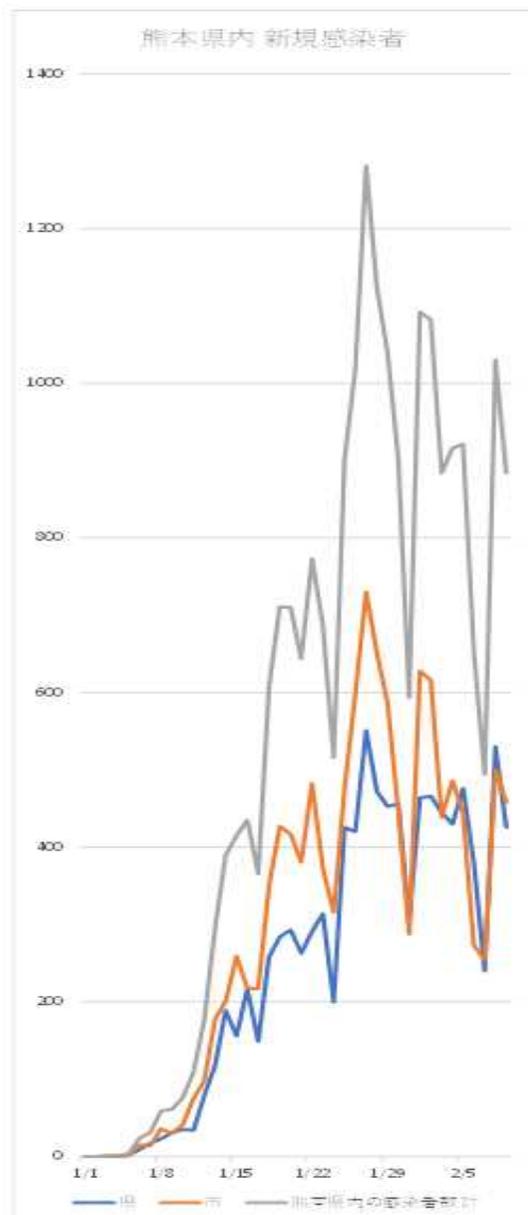
左図は、1/1～2/9 間の新規感染者数のグラフです。すでにピークを越えたように見えるかもしれませんが、油断は禁物でしょう。若い世代がほとんどだった新規感染者は、小・中学校や保育園、高齢者や障害者の施設、医療機関など、幅広い年齢層へと拡大して、県内各所で多数のクラスターが発生し続けています。

「まん延防止等重点措置」は適用されていますが、有効な感染拡大防止策が取られているとは考えられず、新規感染者数の高止まりが続いている状態のようです。

■ 会話時は嚴重に注意を！

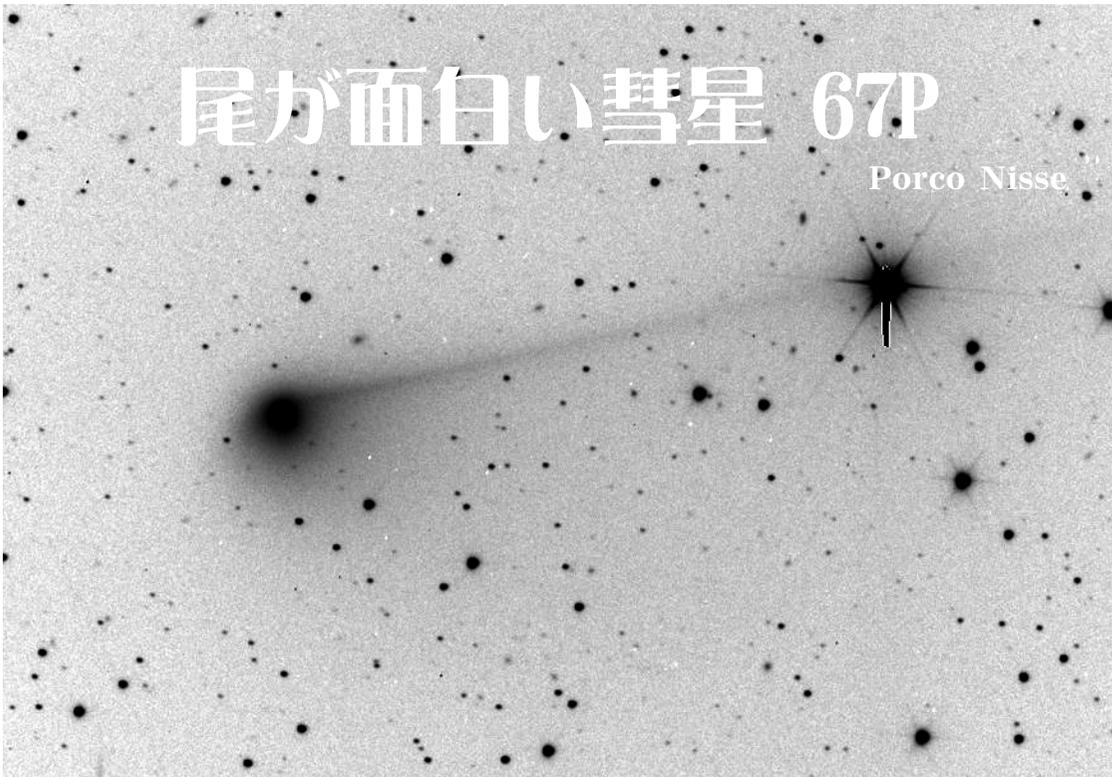
県内では、高齢者を中心に連日数名の感染者が死亡しており、深刻な状態です。オミクロン株は感染力が高く、飛沫感染だけでなく空気感染するとも言われています。特に、会話をする際は嚴重な注意が必要だとのこと。マスクをした状態でも 1m 程度の距離を保つよう推奨されているようです。

感染を収束に向かわせるため、お互いのできる対策をもう一度再確認しましょう。



尾が面白い彗星 67P

Porco Nisse



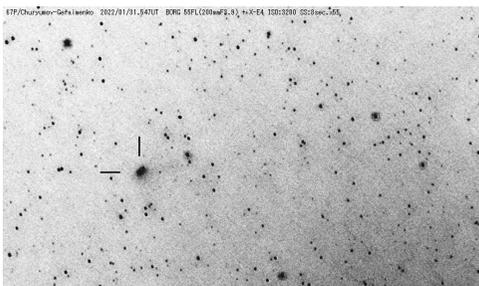
★ 67P/Churyumov-Gerasimenko

年末・年初は C/2021 A1 彗星の陰に埋もれてしまった感のある 67P 彗星だが日本からとても好条件で見えていた。近日点は前年11月に通過し、その後も位置関係は良く長いダストトレイルが各地で観測された。さて、上図は水野氏が30cm反射で撮影した画像だが、これをみて皆さんはどう思うだろうか？典型的なオタマジャクシ型彗星像と思われる方がほとんどだろう。西北西に延びるまっすぐなガスの尾と南から西寄りに広がるダストの尾をもつ彗星と…

でも違うのだ。この画像の撮影時太陽は彗星から見て地球の方向にある。ガスの尾は存在するならば、地球から見ると彗星の向こう側にあり、見えてもやや南方向に伸びて、西に長く見えることはない。ダストの尾も同様に南から東よりに大部分が存在するはずなのだ。

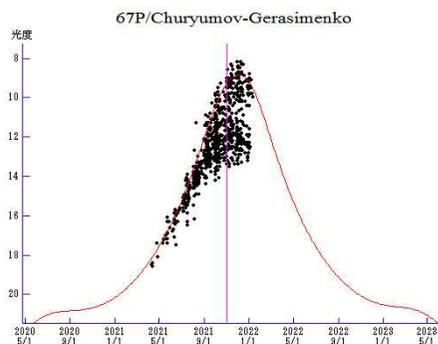
ではこの細く長い尾はなにか？こういう時はステラナビゲーターで彗星軌道を表示させると良い。すると細い尾は軌道に沿って伸びていることが分かる。この尾は彗星軌道付近に存在するダストの尾なのだ。1月下旬から2月上旬は地球が彗星を追い越すところで、尾の向きは大きく変化する状態だ。この後細いダストの尾はアンチテイルとなって見えると予想するが、さてどうなるかな。

下図は街中ニワトリでの67P、ちょっと悲しい画像…やはり彗星は空の良い所で見るべき天体だ。

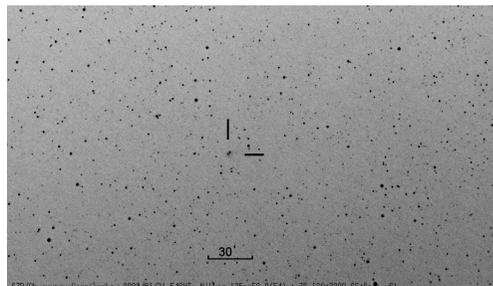


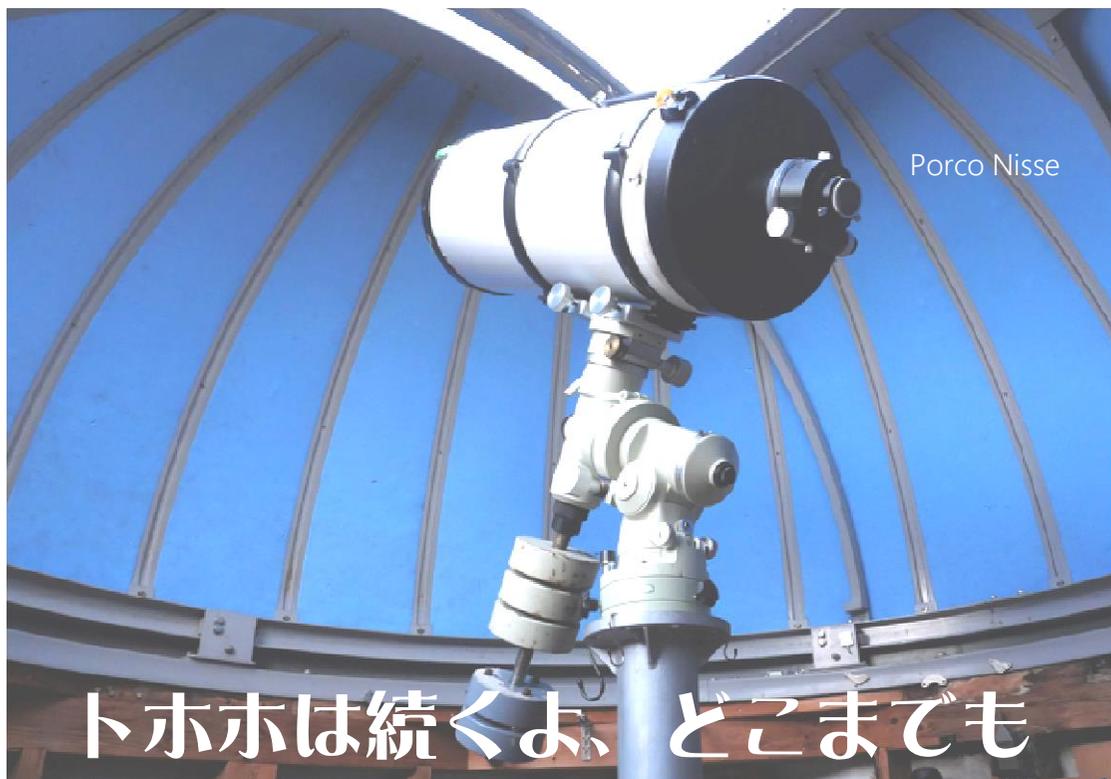
←200mmF4で1月31日に撮影した画像

→こちらは135mmF4で撮影した画像



★光度カーブ図は吉田誠一氏作成





トホホは続くよ、どこまでも

力自慢の高田氏が赤道儀をピラーに載せた時点で…どうせなら鏡筒も載せちゃいましょうと言ってGS300RCを載せたのが上の写真だ。これだけ載せると回転部は簡単には動かない。北極星が極軸望遠鏡の視野に入るか心配だった。入らなければまた鏡筒を降ろさないといけないからね。夜になって空が暗くなってから無事北極星が視野内に入るのを確認した。

後はモーターが届いて装着すれば観測再開…となるはずだった。そのモーターがまだ届かない、本来なら11月中旬に届いているはずなのに。ま、これは仕方ないな。

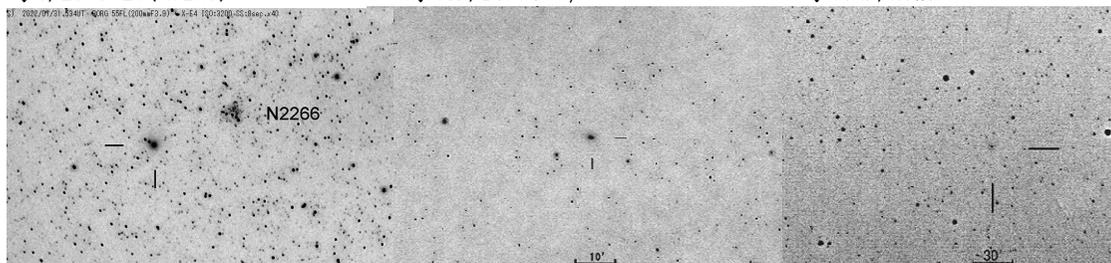
観測再開までにやっておくべきことがまだ残っている。望遠鏡が使えるかどうかだ。なにしろ地震で倒れた望遠鏡だ、きちんと見えるかどうか分からない。そこで必要なのが光学系の確認だ。赤道儀搭載して覗きやすくなったので、早速確認作業を試みた。接眼部から覗いてみると副鏡が見えるのだが、それは視野の真ん中であつた。副鏡の位置に問題は無い。次に副鏡に主鏡が写っているのを確認すると…主鏡のセンターマークが真ん中じゃない。あちゃー、光軸が狂っているぞ、一人では修正するのは大変だけどやるしかない。覗きながらそのままでは副鏡に手が届かないから、行ったり来たりを繰り返す作業になる…やれやれだな。いつになったら稼働するのやら、トホホは続きそうだ。

下の三枚の図は30cmが動かない期間でも彗星は待ってくれないのでニワトリで観測したものだ。ニワトリで辛いのは彗星の導入だ。ファインダーも無し、明るい星は無し(街中の秋の空だから)での導入は大変だ。自動導入に慣れっこになっていたからなあ。緻密な目盛環でも使えろと随分と違うのだろうけれど、大雑把な目盛環はあまり役に立たない、そもそも基準星がないのだから。ここはAZGTiの出番だな。小さく安い架台だけど自動導入出来るはず…やってみないと分からないけど。

↓C/2019 L3(ATLAS)

↓19P/Borrelly

↓104P/Kowal



ちよつと一服

Poem & Illustration

初春・・・って、冬なのになんで？って子供のころは思っていたんですが、旧正月は、立春の時期なんですね。中国では春節。今年はオリンピックと重なったものの、国民の関心はコロナ禍で規制だらけのオリンピックより春節のほうにあるようで。日本では、節分の恵方巻商戦が終わり、♪春～は名～のみ～の♪の今日この頃です。

夜明け前、南東の空に金星・火星、水星が見えます。まだ低いですけどね。で、木星はというと、夕方の西の低空。意識すればギリギリ見えるかな？土星はもう見えません。

ということで、春の星雲星団や系外星雲の観望を楽しみましょう。このところ空がきれいですよ！晴れてればの話ですが。それから月が出ているときは月を楽しみましょうね・・・と言いつつ、連日の締め切り地獄に悲鳴を上げている私・・・そういえば先日夜明け前にトイレに起きた時はさそり座がきれいだったなあ・・・寒さと眠気で、撮影する気にはなれませんでした。なかなか頑張り切れない今日この頃・・・



ポーラスター

親ぐまが 子ぐまの周りを歩き回る夜
春の呪文を唱えながら
春を呼び寄せる 季節が来た

北の空 一点輝くポーラスターの下

そこは神話の豊穡の森ではなく
冷たい海と氷の世界
ポーラベア
色を失った北の果ての熊たち

待ち望んだ春は どんな春だろう

はるかに南の島国では
春を告げる鳥の声もしないと
引きこもった女がつぶやいているが

確かに少しづつ夜は短くなっていく
地平から顔を出した大きな熊が のっそりと
ゆっくり確実に高いところへ登っていくように

変わることのない目印を見つけて
マスクを重ねて外に出る日も近い



By Dio

2022年1月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 1日/4日=25%
一般来台者数 15名

総開台日数 4日
会員来台数 7名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
8日〔土〕	晴れのち曇り	艶島 高田 小林J中島	15人 6グループ	今年初めての運営 月、M42,M31,木星の電視観望 流星群について動画を見ながらの解説 冬の星雲・星団など、流星の経路について等 風もなく意外に暖かい。質問もたくさん出て賑やかでした。 この日を最後に、運営は中止になりました。熊本県の新型コロナ感染者数の激増によるものです。収束の見込みはまだ立ちません。さて、いつになったら運営が再開できるのでしょうか？
16日 (日)	曇り 雨	中島	0人	星屑の残部を持参 郵便物等の確認
23日 (日)	雨	中島	0人	郵便物等の確認
30日 (日)	曇り	中島	0人	郵便物等の確認 ついでに天文台入り口付近の段差に砂利と砂を入れて少し改修

寒さに負けた！ コロナに負けそう・・・

Hige

1月は寒い日が続き、なかなか夜、星を見ようという気持ちが湧いてこなかった。ついつい、夕飯の時に熱燗をつけてしまう。そうすると一本のつもりがついつい2本になってしまう。となれば、当然そのまま眠りの国へとまっしぐらだ。しかも新型コロナの流行は続く。

1月20日、勤務を終えて家でゆっくりとしていると電話がかかってきた。教頭先生からだ。なにかしでかしたかなと思って電話に出てみると、前日、私の机の横に座って有給休暇の申請をしていた（パソコンで自分で申請するシステム）職員が、新型コロナに感染したことが判明したとのこと。たぶん10分以上隣でパソコンの画面が進むのを待っていたので（とにかくレスポンスが悪くて時間がかかる）、その間いろいろと話していたのだ。教頭先生が言うには、この日その先生が長く話していたのは、私と面接をした校長先生の2人だけということだった。保健所の判断ではたぶん濃厚接触者には当たらないとのこと

だったが、忙しすぎて判断が確定するのがいつになるか分からないとのことだった。

結局、マスクもしていたし後ろの窓も開けて換気もしていたし、席の間隔も1 m以上はあるので大丈夫だろうということになった。

でも、この話を嫁さんにした瞬間、家庭内別居状態となってしまった。布団を寝室から私の書斎へと移動し、この夜から一人で寝ることになった。しかし、書斎は猫の部屋でもあるので、結局猫と一緒に寝るはめになってしまったのだ。猫はうれしそうに布団に入ったり出たりを繰り返し、暑くなると布団の上に乗って爆睡。おかげで、寝返りも打てずに朝起きると体中が痛いという有様だ。とか何とか言いながらも、猫と一緒に生活を満喫しているのではあるのだが。

勤務先の学校でも、親の感染で濃厚接触者となって休む生徒もかなりいて、教室はずいぶんとさみしい状況だ。理科の実験もなかなか考える。調理実習がダメなら理科の実験もダメだろうと思うのだが、とりあえず文科省も教育委員会も何も言っていない。いろいろと気を遣いながらの授業となる。リモート授業の準備はいつもしているのだが、幸いまだ実行するまでには至っていない。なんとか持ちこたえているという状況だ。

そんな中、始まったワクチンの三回目接種だ。嫁さんは1月29日、私は2月5日に予約開始となった。2月5日土曜日、8時30分に予約サイトを見てみると、モデルナのワクチンはずいぶん余裕があって早く打てそうだった。そこで、家から行きやすい（中心市街地を避けて）病院を選ぶと8日火曜日に予約が取れた。ついでに嫁さんの予約も変更して同じ病院にして一緒に行くことにした。8日は勤務終了後、午後から二人で出発。ずいぶん早く着いたのだが、関係なく接種は進み、あっという間に終了。帰宅するまで特に問題ない。

しかし、翌日の朝起きてみると注射を打ってあとが腫れてずいぶん痛い。おまけに体のあちこちが痛み、悪寒、頭痛と結構な副反応が出た。熱は出なかったが、結局一日中寝て過ごした。しかし、嫁さんはけろっとしていたのには、何だかむかつく。翌々日になると、副反応はほとんど消えて無事に授業に行くことができた。これだけ副反応が出るということは、結構な抗体ができたということだろう。なんとなく安心している。

2月10日現在、熊本県の感染者数は940人と高止まりの状態が続いている。まだまだワクチン接種が進まない状態では、なかなか急には減りそうもない。当分、このままの状態では推移するのではないだろうか。先が見えないのは何よりきつい。しかし、ただ耐えるしかないな。

そんな中でも季節は巡る。日の出も早くなり、夕方もうずいぶん遅くまで明るくなってきた。となると、春作の畑の準備だ。2月は、春じゃがの植え付けの時期なので、元肥を入れて耕して、畝たてまで行って待機中だ。去年は2月9日に植え付けたのだが、今年は1週間遅らせてみようと思う。ずいぶん寒いので、霜の心配のためだ。植え付けてから1月ほどで芽が出るのだが、4月までは霜の心配がある。不織布を張って防いでみるのだが、伸びるのが早いと不織布に接触して霜害が出てしまう。少し、生育を遅らせようという作戦だ。うまくいくことを願うのみ。梅の花もたくさん咲き始め、なんのかのと言っても、春の訪れを感じるようになってきた。いろいろと種をまいて苗の準備を始める時期となる。忙しけれども、これが一番楽しいのかもしれない。



コロナ、治まりませんねえ。無症状の方々も多いらしいので、何処でもらってしまうかわかりません。なるだけウロウロしないように心がけてはいますが、仕事しないわけにもいかず。なかなか大変です。さて、少しずつ夜が短くなっていますが、夕方の西空に木星が綺麗ですね。夜明けの金星もキラキラと光って見応えあります。最近はころころと天気が変わりますが、晴れた日は是非ご覧下さい。綺麗ですよ。

☆ 3月の天文現象 & 行事 ☆

- 3日(木) 水星と土星が最接近(00:37) 新月(02:35)
- 5日(土) 啓蟄(けいちつ・・・冬眠した虫類が、陽気で地上に姿を現す。) いて座RT星が極大(6.0~14.1等 周期306日)
- 6日(日) 木星が合(12:05 -2.0等 視直径33.0")
- 8日(火) 月とプレアデス星団が並ぶ
- 10日(木) 月面Xが見える(15:52) 上弦(19:45)
- 12日(土) トークアバウト(20:00~ 変更の場合あり)
- 14日(月) 海王星が合(08:47 8.0等 視直径2.2")
- 16日(水) 金星と火星が最接近(11:23)
- 18日(金) 満月(16:18)
- 20日(日) 金星が西方最大離隔(18:25 -4.4等 視直径24.6")
- 21日(月) 春分(しゅんぶん・・・昼と夜の長さが同じ。前後各3日を含め先祖供養の日)
- 22日(火) てんびん座 α 1星(5.2等)の食(福岡 明縁から潜入 01:35 → 02:31)
てんびん座 α 2星(2.8等)の食(福岡 明縁から潜入 01:55 → 02:43)
- 25日(金) 下弦(14:37)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2022年3月号 通巻564号
 発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
 熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台
 TEL 0964-28-6060
 振替口座 01700-5-105697
 NPO熊本県民天文台事務局
 天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp
 メーリングリストの加入申し込み kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで